

建築物排出量削減計画書

(宛 先) 京 都 市 長	2022年 10 月 21 日
住 所 (法 人 に あ っ て は , 主 た る 事 務 所 の 所 在 地)	氏 名 (法 人 に あ っ て は , 名 称 及 び 代 表 名)
605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地	学校法人京都女子学園 理事長 芝原 玄記
	電話 075-531-7022

京都市地球温暖化対策条例 ☒ 第 4 9 条第 1 項 ☐ 第 4 9 条第 3 項 ☐ 第 5 2 条第 1 項 ☐ 第 5 2 条第 2 項において準用する同条例第 4 9 条第 3 項 の規定により提出します。				
工 事 の 種 別		☒ 新築 ☐ 増築		
工事着工予定年月日		2022年 12月 01日		
工事完了予定年月日		2024年 08月 31日		
建築物 の概要	名 称	学校法人京都女子学園 京都女子大学A・Q校舎		
	所 在 地	京都市東山区今熊野北日吉町35番地(一部)他20筆		
	構 造	S造一部SRC, RC造	階 数	地 上 3 階 地 下 1 階
	敷 地 面 積	12, 455. 86 平方メートル	高 さ	17. 910メートル
	建 築 面 積	1, 892. 44 平方メートル	床 面 積 の 合 計 (1 棟増築の場合の 増築部分の床面積)	5, 505. 88平方メートル (平方メートル)
	用途別の床 面積	住 宅	平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む 店舗等		
		事 務 所 等		
		学 校 等	5, 505. 88 平方メートル	
		飲 食 店 等		
集 会 所 等				
工 場 等				

建築環境総合性能評価システムによる評価の結果	BEE=1.6 A
設計者の住所及び氏名の公表について	☒ 公表可 ☐ 公表不可
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置	概 要
☒ 外 壁 , 屋 根 又 は 床 の 断 熱	外壁：吹付硬質ウレタンフォームによる断熱。 屋根：屋根材、吹付硬質ウレタンフォームによる断熱。 床：押出法ポリスチレンフォームによる断熱
☒ 窓 の 断 熱 又 は 日 射 の 遮 蔽	Low-Eガラスを採用し、ブラインドを設置。
☐ エネルギー消費効率の高い設備の導入	
☒ 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 利 用	太陽光発電の設置。
☐ 環 境 へ の 負 荷 が 少 な い 材 料 の 利 用	
☒ 地 域 産 木 材 の 利 用	地域産材木材を使用。
☒ 節 水 型 設 備 の 設 置	節水型フラッシュバルブ式洋風大便器
☐ 雨 水 , 雑 排 水 等 の 利 用	
☒ 耐用年数が長い材料及び設備の利用	ECPタイル張り（弾性接着剤）、アルミサッシ等の採用（30年以上）。
☒ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	PS, DS等のシャフトはコアに集約。 乾式壁の採用。
☒ 緑 化 の 実 施	既存樹木を活かしながら敷地内の外構を整備。
☐ 電 気 自 動 車 等 の 充 電 設 備 の 設 置	
☐ 宅 配 ボ ッ ク ス の 設 置	
☐ 代替フロン由来の温室効果ガス排出削減	
☐ そ の 他	

注1 該当する□には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容が分かる書類を添付してください。

3 この計画書は、建築物の棟ごとに作成してください。（敷地内増築、棟別新築の場合は、新築の扱いとなります）